

けいはんな学研都市地域を軸とした教育システム輸出拠点の形成
研究会

2020年2月

1. 趣旨

けいはんな学研都市地域は、有数の高等教育機関と研究所群が集積し、教育産業拠点としての潜在力と優位性を持つ。また、途上国から関心の高い特別教育活動は、日本の文化的土壌と不可分である故、この地域が、京都、奈良、大阪という日本の歴史、伝統、文化が根付く地であるということも利点となる。このようなけいはんな学研都市地域に、日本型教育システムの海外展開拠点を創設し、途上国からの教員研修の受け入れが望まれる。更には、欧米大学の東アジア拠点として、この地域が中継貿易基地となる未来像も考えられる。

本研究では、「国際教育都市としてのけいはんな」の可能性を探り、けいはんな学研都市地域を軸とした教育システム輸出拠点の形成に向けた活動を行う。具体的には、以下三点に焦点を当て、研究を推進する。

第一にオフショアスクールの世界的動向の調査、日本型教育の海外展開における条件等の調査である。第二に、けいはんな学研都市地域における途上国対象の日本型教育の指導者養成センター設置を構想し、その具体化に向けての条件等についての調査研究の推進である。

更に第三に、こうした教育輸出拠点の形成が、学研都市地域に居住する住民の生涯学習機会の充実や深化にどのような関わりをもつのかを検討する。特に、先端科学と歴史、伝統、文化といった文化資本が交錯する都市空間において、諸外国から評価される一方今や忘れられがちな規律や礼儀を重んじる精神、倫理・道徳教育が地域住民にどのようなインパクトを与える可能性があるのかを探りたい。

2. 活動状況

第1回研究会：2018年12月22日（土）13：00～16：00／京都大学総合研究2号館

[趣旨説明・今後の展開について]高見先生

第2回研究会：2019年4月13日（土）14：00～17：00／京都大学総合研究2号館

[報告] 「トランスナショナル高等教育の新動向」杉本均先生

「インドの教育制度」渡辺雅幸先生

第3回研究会：2019年7月6日（土）14：00～17：00／京都大学総合研究2号館

[報告] 「ドバイにおけるフリーゾーンと海外分校

—海外分校は「砂上の楼閣」なのか—」中島悠介先生

「インドネシアの教育制度」島田健太郎先生

第4回研究会：2020年2月8日（土）14：00～17：00／京都大学総合研究2号館

[報告] 「韓国における外国教育機関の設置・運営」全京和先生

「台湾における後期中等教育段階

オフショアスクール設置の可能性？」廖于晴先生

「けいはんな学研都市地域を軸とした教育システム輸出拠点の形成」

研究会

2019年度第3回(通算第4回)

1. 日時 2020年2月8日(土) 14:00~17:00

2. 場所 京都大学総合研究2号館教育学研究科第5演習室

3. 出席者 ※敬称略、五十音順

代表者	高見 茂	国際高等研究所副所長、京都光華女子大学学長
		京都大学学際融合教育研究推進センター特任教授
	郭 暁博	神戸松蔭女子学院大学教育学部講師
	島田健太郎	京都大学学際融合教育研究推進センター特任助教
	杉本 均	京都大学大学院教育学研究科教授
	全 京和	京都光華女子大学健康科学部健康栄養学科講師
	谷本 寛文	京都光華女子大学子ども教育学部准教授
	智原 江美	京都光華女子大学子ども教育学部教授
	中島 悠介	大阪大谷大学教育学部講師
	松本 圭将	京都大学大学院教育学研究科修士課程
	廖 于晴	京都大学学際融合教育研究推進センター特任助教
	渡辺 雅幸	びわこ学院大学教育福祉学部講師
(欠席)	白銀 研五	びわこ学院大学教育福祉学部講師
	長久 善樹	学校法人啓明学院社会科教諭
	南部 広孝	京都大学大学院教育学研究科教授
	西川 潤	京都大学大学院教育学研究科博士後期課程
	服部 憲児	京都大学大学院教育学研究科准教授
	福田 一	学校法人啓明学院英語科教諭
	宮村 裕子	畿央大学教育学部准教授
	山田 基靖	外務省経済安全保障課漁業室主査(前国連日本政府代表部一等書記官)、学校法人摺河学園理事

4. 内容

- (1) 発表1: 全京和先生
- (2) 発表2: 廖于晴先生
- (3) その他